

平成30年 1月 5日

苫小牧市長  
岩倉博文 様

一般社団法人 苫小牧青年会議所 理事長 丹治 秀章  
2017年度地域共創政策委員会 委員長 杉村 原生

## (一社) 北海道国際流通機構自治体会員入会に関する要望書

### ○活動の趣旨

当会は地域資源の活用を通じた発展の可能性を提案すべく、2017年度において活動を行って参りました。その中で、苫小牧港が取り扱う貨物実績と苫小牧市の人口との上昇カーブが一致している点、また、輸出貨物の取り扱い実績が全体の2%に留まっている点に着目し、国際拠点港湾を有する地域として輸出対象貨物の増加を図る取組を行うことが資源の活用促進に繋がり、今後の更なる発展を導く事ができるとの判断に至り、輸出拡大の有益性にご理解を集める運動を重ねて参りました。

### ○活動の結果

一般社団法人北海道国際流通機構様をご提供されている「誰でも簡単に輸出ができる仕組み」というものがあり、今年4月の発足から様々なご支持を集めている模様です。苫小牧市でも説明会が複数回行われていますが、輸出に対する関心や理解度も低い現状の中、一般の方への認知や普及は進んでおりません。そこで、当会は輸出への関連度合いに関わらず広く興味を持っていただく機会として「地域共創セミナー」を平成29年11月26日に苫小牧市民活動センターにて開催し、市内外より多くの方々ご来場されました。アンケートやヒアリングにて意識調査を行いました。「知らなかった」「自分にも挑戦できそう」「できることから始めたい」「もっと地域としても注力すべき」という声を聞きました。

### ○市に対する要望

一般社団法人北海道国際流通機構様のサービス内容には自治体会員という制度があり、地域産品の輸出実績向上に取り組むいくつかの自治体が入会しています。苫小牧市は道内最大である国際拠点港湾を有する地域であること、また、上記の結果のように多くの方々にとって輸出拡大への取組が有益となることを踏まえ、苫小牧市が当機構の自治体会員となることは今後の地域の成長に大きく寄与すると判断できます。よってこの度、当会は苫小牧市に一般社団法人北海道国際流通機構に自治体会員としてご入会いただくことを要望いたします。

以上